

病害虫発生予察情報

11 月月報

平成 22 年 12 月 14 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2010 年 11 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	19.6	1.8	7.0	-1.8	13.1	0.0	52.5	182	70.7	133
中旬	16.1	0.0	5.8	-0.9	10.8	-0.4	10.0	39	50.1	105
下旬	15.7	1.7	5.8	1.1	10.9	1.7	33.0	85	50.2	96
平均	17.1	1.1	6.2	-0.5	11.6	0.4				
合計							95.5	103	171.0	111

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・下旬は高く、中旬は平年並だった。

降 水 量：上・下旬は多く、中旬は平年並だった。

日照時間：上旬は多く、中旬は平年並、下旬は少なかった。

< 天候概況 >

上旬：冬型の気圧配置や東シナ海に中心を持つ高気圧に覆われたため概ね晴れたが、1 日は前線を伴った低気圧が関東の南を通過した影響で雨となった。

中旬：天気は数日の周期で変化した。冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われて晴れる日もあったが、15 日は上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、また 17 日から 18 日にかけては関東の南海上を低気圧が通過したため雨が降った。

下旬：22 日から 23 日にかけてと、25 日から 26 日にかけて低気圧が関東の南を通過した影響で雨となった。その他の日は冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われて晴れた。

2 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：抑制トマトは 11 月末で収穫がほぼ終了した。夏期の高温の影響で樹勢が弱い状態が続き、障害果の発生も多く、収量は低かった。9 月定植の促成トマトは概ね順調に生育している。促成イチゴは開花期、収穫期が遅れ、11 月中に収穫できない農家がみられている。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であったが、コマツナは一部の地域で根こぶ病の発生がみられた。キャベツは収穫期が遅れ、やや小玉傾向である。ブロッコリーも同様に収穫期が遅れ、花蕾の形や小花の状態など品質は不良であった。ハクサイは収穫期が遅れ、球の巻きや肥大が不良傾向であった。ダイコンは 10 日程度収穫が遅れている。9 月中旬に播種されたものは 11 月中下旬収穫となったが、品

質的に問題はなかった。ニンジンには収穫が遅れており、肥大が不良で、11 月中に収穫に至らないケースも多かった。

いも類：サツマイモはイモの肥大が順調であった。サトイモは小玉のイモが多く、収量も少なかった。

(2) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

各品種とも平年より遅い収穫始であった。

松本早生富有：収穫始 11 月 10 日（+12.9 日）

次郎：収穫始 11 月 19 日（+27.5 日）

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・抑制）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生は一部地域を除きやや少なかった。
褐斑病	< やや少 >	発生は一部地域を除きやや少なかった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
立枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
(2) 花きの病害虫		
シクラメン		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
シクラメンホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。一部の地域で発生が多かった。
スミレ類		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
キク		
黒さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
花き共通		
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
(3) 植木の病害虫		
特記事項なし		
(4) 島しょの病害虫		
大 島：アシタバでうどんこ病、ガーベラで菌核病、トルコギキョウで立枯病の発生が多かった。		
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	11月5日	12月8日	0	0
大田市場	11月5日	12月8日	0	0
板橋市場	11月5日	12月8日	0	0
淀橋市場	11月5日	12月8日	0	0
北足立青果市場	11月5日	12月8日	0	0
小平青果市場	11月11日	12月10日	0	0
八王子北野市場	11月8日	12月10日	0	0
昭島市場	11月8日	12月10日	0	0
国立市場	11月9日	12月10日	0	0
東久留米市場	11月11日	12月10日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。